

保健だより

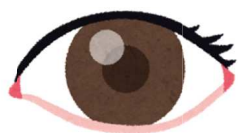
皆さんは、毎年学校で内科検診や歯科検診などの健康診断を受けています。平成 15 年度まで健康診断の中に「色覚検査」という項目がありました。色覚検査では「色覚異常」があるかないかの検査を行います。しかし、現在では色覚検査は、あまり行われていません。ここで今一度、色覚について考えてみましょう。

色覚異常って何だろう??

「色覚異常」とは、どんな状態？

“物を見る”という機能は、視力、視野、色覚の3つに支えられています。

- 視力 … 細かいものを見分ける力
- 視野 … 同時に見渡せる範囲
- 色覚 … 色を識別する感覚



これらの3つの機能は「視細胞」の働きに委ねられており、視細胞がうまく機能しないと、視力が低下したり、視野が狭くなるなどの異常が現れます。色覚についても、色を識別しにくくなる状態があり、それを「色覚異常」と呼んでいます。

色覚異常はまれではありません！

先天性（生まれつき持っている特性）の色覚異常は、日本人男性の5%（20人に1人）、女性の0.2%（500人に1人）の頻度で見られます。国内でも300万人以上が該当し、まれなものではありません。社会生活に支障を感じる人もいますが、多くのケースでは、本人も気づかない程度で日常生活に困ることはありません。



自分の色覚の“特性”を知っておくことのメリット

間違えやすい色、区別が付きにくい色は、人それぞれ異なります。自分の色覚の特性を理解しておくことで、色誤認しやすい状況や注意が必要なポイントがよくわかりますし、進路選択の際に問題に気づいて進路変更をするなどの回り道も少なくできます。（※）

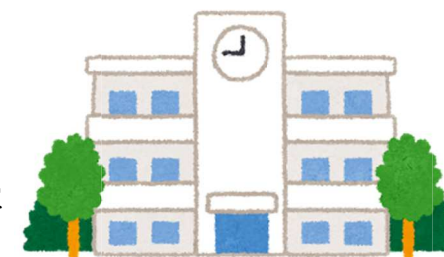


※色覚による採用基準を設けている主な職種・資格

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・ 航空機関係（航空乗務員、航空管制官） | ・ 船舶関係（航海技士、船舶操縦士） |
| ・ 海上保安官（航空も含む） | ・ 自衛官（航空に限る） など |

色覚の検査は学校でできます！

色覚の特性を見つけるためには検査が必要です。学校においても保護者の方の同意を得た上で、短時間で簡単に色覚の検査を行うことができます。色覚検査の希望調査書を眼科検診前に小学校4年生、中学校1年生を対象に配布します。希望者は申し出てください。



色覚に特性があることをどう考えるか

例えば色覚に特性があったとしても、見え方が少し違うだけで、それが悪化することはありません。そのため医療機関に定期的に通院する必要もありません。また、“色覚異常”は、頻度的にはありふれたものです。人には苦手な事があるのと同様に、自分の色覚の特性を知り、上手につきあっていくことが充実した生活を送るポイントだと言えます。

ちょっと小話

色覚異常は、珍しい特性ではありません。みなさんがよく知っている有名人にも色覚異常を持った人はたくさんいます。

例えば、第42代アメリカ大統領のビル・クリントンさん、映画「マトリックス」などで有名な俳優キアヌ・リーブスさん、日本のタレント小堺一機さん、ミュージシャンのhydeさんなど多くの有名人も自分が色覚異常だとカミングアウトしています。

